

(Q)

2019年分（見込） 給付額証明書

奨学金申請者（学生）署名： _____ (印)

※必ず申請者(学生)本人が署名・押印すること。

※証明者(援助者)と同じ印鑑で押印した場合、不備となります。

<作成上の注意>

- 父母等から経済的援助を受けている場合は、**援助しているご本人（父母等）**から証明を受けてください。
 - 父母等からの経済的援助は、申請者本人の日常生活において、父母等の家計から支出された費用を指すため、授業料、通学費、下宿代、小遣い等で父母等の家計から支出した合計金額を給付年額としてください。
 - 奨学金やアルバイト等の収入から支出した金額は含めないでください。
- ※ 給付予定年額を算出する際は、申請中の奨学金や授業料免除については選考に通らない前提としてください。
(奨学金は受けられない、授業料は支払うものとする。)
- ※ 自宅通学者については、食費、住居費、光熱水料・通信費等の日常生活費に係る世帯全体の年間経費を家族数で割った金額を”本人への給付年額”としてください。

		2019年分 2019年1月～12月(見込)
内訳	授業料・入学料・学用品	円
	食費	円
	光熱水料・通信費	円
	通学費 (定期代等)	円
	住居費・下宿代	円
	小遣い・仕送り・その他	円
合計（給付年額） ※ スカラネットと異なり、切り捨てではなく、援助を受ける予定年額を可能な限り正確に記入してください。		円

(確認用)内訳合計

※ 合計（給付年額）が給付内訳の合計と一致しない場合は”書類不備”となりますので、よく確認して作成してください。

事実に基づき、上記のとおり証明します。

年 月 日

証明者（援助者）署名

(印)

※必ず証明者（援助者）が署名・押印してください。

※申請者(学生)と同じ印鑑で押印した場合、不備となります。

証明者（援助者）続柄

該当者に○をしてください。 父 ・ 母 ・ その他 ()

証明者（援助者）電話番号

(携帯番号でも可)

※証明者が記入すべき欄について、申請者本人もしくは父母(証明者)以外が署名・押印したことが後日、日本学生支援機構での審査の際に判明した場合は、虚偽申告と判断され、一旦採用されたとしても打ち切りもしくは採用自体が取り消されることがあります。